ふなで

［発行］　社会福祉法人　大阪福祉事業財団　「せんごくの里」　　［発行責任者］　施設長　永田　美子
［住所］　〒597-0051　貝塚市王子1183-3　　ＴＥＬ（072）437-1075　　ＦＡＸ（072）437-1076
せんごくの里URL　http://www.sengoku-sato.com　　白いくもURL　http://www.sengoku-sato.com/Cafe_01.html

咲き誇る紫陽花のように

梅雨の季節、なんだか気分が曇りがちのときには、「今が出番」と咲き誇る紫陽花の花に心が癒されます。最近、核兵器廃棄・拉致問題に世界が注目する米朝首脳会談がおこなわれ、連日関連する報道が続いています。福祉の現場で命と人権を守り、その人らしい生活実現を目指して支援に取り組んでいる私たちにとって、わが国がどういう方向性と姿勢でこの問題に取り組んでいくのか、目を離せない現実です。

さて、２０１８年度の計画に沿って、其々の分野でのとりくみが進んでいます。利用者たちは毎日の仕事に精を出す中、「ここに行ってみたい」「○○をしたい」と希望する行先別に小グループを編成し、ワクワクする気持ちを共感しながら、順次一日外出に出かけています。

家族会では今年のひびきあいまつりの話題や、運営一体化となった貝塚こすもすの里の家族会との交流や連携についての検討もおこなって頂いています。職員も両施設合同の部署会議や担当者会議を行い、利用者支援・施設運営について情報共有を図り、積極的に共同のとりくみをすすめています。運営一体による変化をメリットに転化できるよう、さらに丁寧に利用者支援・施設運営に取り組んでいく所存です。引き続きのご支援を宜しくお願い致します。

施設長　永田　美子

カフェ＆ベーカリー 白いくも

城東区にある法人本部での販売会に行ってきました。

到着してまずは、「うぇるカフェ」でプチ研修を兼ねて、「美味しい」昼食を頂きました。

いよいよ、１２時から販売スタート。約１時間半で１５０個を完売する事が出来ました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

スタッフ全員で「やったー！」「売れたね～」と、大喜びしながらせんごくの里に戻ると、待ってくれていたスタッフも「どうやった？」「売れた？」とお出迎え。完売したことを伝えると「やったー！すごいねー」と、みんなでハイタッチ♪♪いい刺激と心地よい達成感の販売会となりました。

今後も定期的に継続していけたらいいなと思います。

野村　早代子

福祉情勢コラム

４月に障害福祉サービス報酬改定が行われました。これは３年に１度行われるものです。

今回の改定では、障害者の重度化・高齢化への対応、医療的ケア児への支援、就労支援サービスの質の向上などの課題に対応するとしています。基本報酬の見直しや加算の増減、新サービスの創設などで全体としては＋０．４７％の改定率です。

ただ、結果的には減収となる事業所が多数を占めます。「きょうされん」が緊急調査を実施しましたが、就労系事業所の７割が減収になると答えています。せんごくの里でも減収となる見込みです。特に就労Ｂ型事業に成果主義的要素が導入され、前年度に利用者に月平均どれだけの工賃（給料）を支給したかで基本報酬が７段階に区分けされました。より高い工賃を支給している事業所が「いい事業所だ」というのです。もちろん、せんごくの里も「少しでも高い工賃を支給したい」思いで売り上げアップを目指しています。

一般的な経済活動の枠組みで障害者（事業所）の「働く」を捉えるのではなく、一人ひとりにとっての「働く意味」を問うことが必要だと思います。働くことは、給料の多い・少ないだけではないはずです。

副施設長　寺田　恒

厨房ですよ

開所当時より毎週金曜日は手作りおやつの日ですが、毎月第３金曜日の誕生会には手作りケーキを提供しています。

ケーキからも季節を感じられるように、内容も旬の材料を使う等してその月ごとに考えています（ちなみに写真は４月「イチゴソースのレアチーズケーキ」と５月「抹茶のカップケーキ」です）。

誕生会のお祝いとして、また皆さんの楽しみの一つとなるよう、これからも続けていきたいと思います。

管理栄養士　山野　みちる

後援会会員募集中

会員の皆様、２０１８年度後援会加入、更新ともにありがとうございます。

今年度は城東特別老人ホーム等の建て替えもありますので、引き続き会員拡大を目指して職員一同取り組んでいきたいと思います

担当　永松・南條

福祉のひろば

定期購読オススメです

担当　川瀬・山野

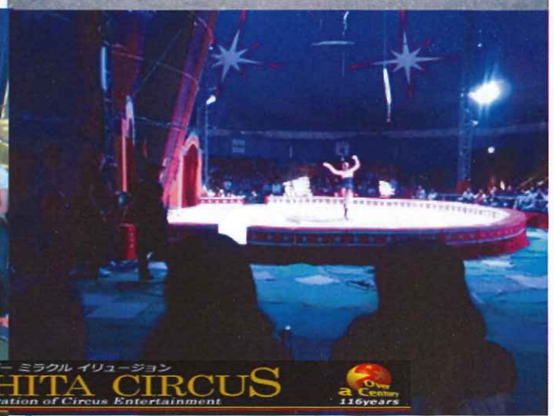
大阪福祉事業財団後援会

年会費　／　個人1口　3,000円

郵便振り込み番号
「00900－3－14013」

詳しくは、せんごくの里までお問い合わせください

夏の一日外出に行ってきました



貝塚市立第４中学校花植えボランティア

きれいな花をいつもありがとう

貝塚公民館まつり

公民館まつり3回目の出場、お天気に恵まれました。今回は、歌声サークル、よさこいサークル共毎週練習をし、歌声サークルでは初めて「365日の紙飛行機」を歌いました。誰もがみんな好きな歌で、はりきって練習してきました。よさこいサークルでは、「花まつり」を踊りました。かけ声で「ラッセーラーッ！ラッセーラッ！」と元気に楽しく踊ることが出来ました。

飛澤・藤本

ワークセンターすっくにお引越し

約2年を過ごした麻生中を後にして、5月からは「ワークセンターすっく」の2Fへ引っ越しました。

個別の作業台で集中する仲間、大きなテーブルで向き合って協力し合う仲間、それぞれに合わせた形で作業に取り組んでいます。雨の日は傘をさして、荷物のある日は交替で台車を押しながら、廊下で出会うこすもすの里の仲間と「こんにちは」と挨拶を交わすのも楽しみのひとつです。今日も「すっく、いってきます！」と元気な声が聞こえます。

山口　由香

音楽療法 VOL.18

「参加方法も色々」

今回は、こんな参加の方法もあるのです、というお話しです。

Aさんはセッションに参加しないという過ごし方を選ばれています。これはミュージック・ケア（以下M・C）がスタートした当初から変わりません。お誘いをしますが別の部屋で過ごされています。

Aさんは5周年記念式典のM・Cのステージで、とても上手に楽曲の紹介をしていました。驚きました。一時間のセッションには参加しないけれど、最初と最後の挨拶は担当してくださるかもと考え、お願いしてみました。始まりの挨拶では最後に「僕は〇〇班で過ごしますが皆さんは楽しんでください。それでは浦川暁美さん、よろしくお願いします。」と必ず言って退室されます。一時間後、終わりの挨拶の為に入室して「皆さん、おーっ！浦川暁美さん、どうもありがとうございました。」とセッションを締めくくってくださいます。Aさんは〇〇班の部屋に聴こえてくる音楽や皆の声に、気持ちが動いているのかもしれません。自分で選んだ安心できる空間で過ごし、最初と最後の役割をしっかりとこなしています。セッションに参加されているメンバーさんも、Aさんの挨拶を待って一緒に「終わり」を共有しています。

今日も楽しくできましたか？来月も頑張ろう！（片手を突き上げて）

Aさんの挨拶もM・Cのプログラムの大切な要素です。こんな参加の方法もあるのですね。挨拶をしてくださるAさんの後ろに立ち「いつか一緒にセッションができるといいな」と大きな背中を見ています。

日本ミュージック・ケア協会
認定指導者
浦川暁美